

平成 31 年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	書 Ⅱ （光村図書出版）						
副教材等	な し						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
- ・さまざまな書体の文字に触れ、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることを目指しましょう。
- ・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てましょう。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の文化や伝統について理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	a:書への関心・意欲・ 態度	b:書表現の構想と 工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 ポートフォリオ	観察 提出作品	観察 提出作品	観察 レポート ポートフォリオ 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a.	b.	c.	d.		
一学期	仮名の書	『高野切第一種』 ・変体仮名や連綿について理解する。 ・古典の臨書を通して、仮名の筆遣いに慣れる。 ・料紙などの用材の工夫をし、仮名の理解を深める。	○	○	○		a: 古典の書の美と表現技法に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。 b: 高野切第一種の線質や字形の特徴などを理解し、書風を生かした表現を工夫している。 c: 高野切第一種の線質や字形、用筆・運筆の特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d: 高野切第一種の線質や字形、用筆・運筆の特徴を理解し、書かれた時代背景や内容など、知的側面から理解している。	観察 ポートフォリオ 提出作品
	篆刻の学習	・書道 I における篆刻の学習内容を活かし、仮名の小作品用の3分印を制作し、押印して仕上げる。	○	○	○	○	a: 篆刻に関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいる。 b: 篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c: 篆刻の手順を理解し、選文・検字・転写・運刀に関する知識や技法を習得している。 d: さまざまな種類の印を鑑賞し、表現の工夫とその効果を感じ取るとともに、自分の表現に生かしている。	
	漢字の書「篆書」	『甲骨文字』 『小臣觶饗尊』 『泰山刻石』 ・書体の変遷を学び、篆書の美しさと特徴を理解する。 ・篆書の基本点画や用筆や理解する。 ・各古典の字形や線質の違いを理解し表現する。 ・字書を活用させ、篆書を使った作品制作をする。	○	○	○		a: 篆書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。 b: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d: 様々な篆書の書風の違いや字形や用筆の特徴、書の美や表現技法を理解している。	観察 ポートフォリオ 提出作品

	漢字の書「楷書・行書」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の変遷を学び、楷書・行書の美しさと特徴を再確認し、より質の高い臨書を目指す。</li> <li>『孟法師碑』</li> <li>『集王聖教序』</li> <li>『温泉銘』</li> </ul>	○		○		<p>a: 楷書・行書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。</p> <p>b: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。</p> <p>c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。</p> <p>d: 様々な篆書の書風の違いや字形や用筆の特徴、書の美や表現技法を理解している。</p>	観察 ポートフォリオ 提出作品
二学期	漢字の書「隷書」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の変遷を学び、隷書の美しさと特徴を理解する。</li> <li>・隷書の基本点画や用筆法を理解する。</li> <li>『乙瑛碑』</li> <li>『曹全碑』</li> <li>・古典の字形や線質の違いを理解し表現する。</li> </ul>	○		○	○	<p>a: 隷書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。</p> <p>b: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。</p> <p>c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。</p> <p>d: 様々な篆書の書風の違いや字形や用筆の特徴、書の美や表現技法を理解している。</p>	観察 ポートフォリオ 提出作品
	刻字の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな書体・刻したい文字を選び、文字のデザイン性を重視しながら創作し、刻字作品を制作する。</li> <li>・彫刻刀を用いて刻し、彩色を加えて完成させる。</li> <li>・互いに鑑賞・批評し合いながら、書を愛好する心情を育てる。</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a: 刻字に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。</p> <p>b: 刻字の手順に従い、刻し方や彩色など、刻字の特徴を生かした表現を工夫している。</p> <p>c: 刻字の準備と手順に注意を理解し、特徴を生かした表現をすることができる。</p> <p>d: 刻字の意義や手順を理解している。</p>	観察 レポート 提出作品

三学期	漢字の書「草書」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の変遷を学び、草書の美しさと特徴を理解する。『十七帖』</li> <li>・古典の臨書学習を通して、草書の筆遣いに慣れる。</li> </ul>	○		○	○	a: 草書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。 b: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d: 様々な篆書の書風の違いや字形や用筆の特徴、書の美や表現技法を理解している。	観察 ポートフォリオ 提出作品
	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書のより幅広い表現方法を理解し、作品制作をする。</li> <li>・用具用材の工夫、構成の工夫も理解する。</li> <li>・自らの制作意図をもって工夫する。</li> <li>・互いに鑑賞・批評し合う。</li> </ul>	○	○	○	○	a: 自己の意図に基づき、様々な表現を試みることに意欲的に取り組んでいる。 b: 感興や意図に応じた表現を構想し工夫している。 c: 感興や意図に応じた表現を構想し工夫している。 d: 用具。用材の特性により、様々な表現が可能であることを理解している。	観察 ポートフォリオ 提出作品

※ 表中の観点について a: 書への関心・意欲・態度  
c: 創造的な書表現の技能

b: 書表現の構想と工夫  
d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。